

『 毎日守ろう 亀城ッ子宣言 』

藤枝市立西益津小学校

1 ピア・サポート活動年間プログラム

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
4月	入学式（1・6年） 1年生を迎える会（全学年） 春の遠足（全学年）	<u>自己・他者理解</u> ◎人間関係づくりプログラム ①出会い	
5月	全校集会① 運動会（全学年）	◎人間関係づくりプログラム ②聴き方	
6月	全校集会②	◎人間関係づくりプログラム ③自己表現	
7月		◎人間関係づくりプログラム ④対処・対応	
8月			【夏季研修】 8/6, 8
9月	全校集会③ 音楽観賞会（全学年） 陸上選手を励ます会（全学年）	<u>友達と協力しよう</u>	子どもを語る会 （子どもの表れから ピア・サポートを全 職員で共通理解）
10月	親善音楽会出場者を励ます会（全学年） 亀城祭&音楽集会（全学年） 就学时健康診断（5年）		
11月	全校集会④		
12月	ドッジボールラリー(全学年) 学校保健委員会（6年）	<u>友達のいいところを見つけよう</u>	
1月	長縄選手権（全学年） 全校集会⑤		
2月	6年生ありがとうの会(全学年)	<u>感謝の気持ちを伝え合おう</u>	
3月	卒業式（5, 6年）		

【年間を通して】
日々の授業実践の中で
クラブ活動
ペア活動
など

【年間を通して】
児童会の活動
全校集会
ピア・サポート委員会など委員会の活動

2 本校のピア・サポート活動の紹介

- ① 西益津小学校の核となる『亀城ッ子宣言』
毎朝唱えている『亀城ッ子宣言』の中の『人をいたわります。』『ありがとう』『ごめんなさい』を言います。』は、ピア・サポートにつながるものであり、学校生活の様々な場面で大切にしている。
- ② 「西小スローガン」の設定
「西小スローガン」を児童会が中心に設定した。『毎日守ろう 亀城ッ子宣言』



○「亀城ッ子宣言をより意識して生活したい」という児童の願いから、「毎日守ろう 亀城ッ子宣言」というスローガンを設定した。

- ③ スローガンに向けての活動

◇スローガンの啓発

○「亀城ッ子宣言」の在り方をふり返り、朝の会で言うだけになっているのではないか。各行事等の後に守れたと言えるのかという問題意識をもって、発表を行った。本校のピア・サポートの理念でもある、「温かなかわり」や「ルールやマナーを守る」という視点から全校で考えた。



◇「亀城ッ子宣言守ろうプロジェクト」

「第1回亀城ッ子宣言守ろうプロジェクト」以下の6つの項目を意識するためのプロジェクトを企画した。

- ・挨拶をする
- ・悪口を言わない
- ・先生に挨拶をする
- ・廊下を走らない
- ・ありがとうごめんなさいを言う
- ・掃除はだいじを守る

「第2回亀城ッ子宣言守ろうプロジェクト」9個の項目について各クラスどれだけ達

成できたか確認し、達成状況を放送で知らせた。

これらのプロジェクトにより、子どもたちにルールやマナーという視点から、相手とのより良いかわり方を考えたり、自己決定をしたりする意識が育ってきた。

◇「気持ちの良い挨拶活動」

ピア・サポート委員会が中心となり活動を行った。亀城ッ子宣言を軸に、毎朝挨拶をして、気持ちの良い一日のスタートとした。

この活動により、“人をいたわる”ことへの理解が、挨拶と結びつき、具体的になってきた。また、自ら進んでの具体的な活動ともなった。



◇ 行事

○1学期から遠足や運動会、ペア活動、亀城祭、音楽集会等の行事を行ってきた。その際必ず、全校集会や朝礼で「毎日守ろう 亀城ッ子宣言」というスローガンを意識して活動を行い、各学級や全校でふり返りを行った。友達や周りの人に亀城ッ子宣言をどのように守れたのかを子どもの言葉で語り価値付けることで、具体的な姿として子どもの中に広まっていった。



◇「話す」「聴く」を大切にした授業

○授業での話し方や聴き方などの関わりを客観的に観ることによって、授業中での「やさしさいっぱい」とは、どういうことを子ども自身が考えるきっかけとなった。

◇異学年交流の充実

○ペア活動の時間には、ペア学年と一緒に運動会の練習をしたり、遊んだりした。その

中で、下級生は“カッコいいお兄さん・お姉さん”へのあこがれを抱き、敬意を持って接することを、上級生は甘やかすだけではなく、時には毅然とした態度で注意したり模範を示したりすることなど、年下の子に対する接し方を学んだ。

このような異学年交流を通して、上級生がリーダーシップをとりながら対立を解消したり、折り合いを付けたりする場面も見られ、子どもたちの中にピア・サポートの輪が広まってきたことが感じられた。



始めはとまどいながら接していた子どもたちも、“温かなかわり”について考え、実践することができた。

◇「アイの城」・「亀の子」プロジェクト

友達がした「やさしさいっぱい」の行動を、ピア・サポート委員が「アイの城カード」に、児童会が「亀の子カード」を掲示した。また、放送で紹介し思いやりの輪を広めながら、立派な亀城ッ子を目指した。

普段の何気ない関わりの中から友達のやさしさや温かな関わりに気がつき、多くの児童が「やさしさいっぱい」の姿について考えるきっかけとなった。

・友達に優しくしたことや、良かったことを書いてもらって、放送で良かったことや優しくしたことを言ってもらおうと、また優しいことをちがう子にもやってみたいと思いました。【～児童の感想から～】

◇地域・保護者への啓発

学校便り「亀城」で、授業の様子や特別活動の状況を継続的に紹介した。本年度もスローガンについての取り組みや全校集会の様子も紹介され、保護者や地域の方にも「毎日守ろう亀城ッ子宣言」の視点から、ピア・サポートへの理解を広げることができた。

3 本年度の成果と課題

〈成果〉

今年度はスローガンを軸に、「やさしさ」と「ルールやマナー」という2つの視点からピア・サポートを考えてきた。

日々の活動や全校集会などを通じて、一つひとつの目標設定や振り返りを丁寧に行ったことで、亀城ッ子宣言を基に、「やさしさいっぱい」とはどんなことなのか、「ルールやマナーを守る」ことはなぜ大切なのか、子どもたちの中に浸透していった。また、友達の優しい表れを見つけようとする気持ちや、やさしさに感謝する気持ちも育ってきた。

ペア学年の交流の場が充実したことで、子どもたち自身で問題を解決したり助け合ったりしようという自治意識も芽生えてきた。

〈課題〉

児童によっては、思いやりに欠ける行動をとってしまったり、自分の感情をコントロールして上手く相手に伝えられなかったりする場面も見受けられる。

今後も引き続き、児童の表れや発達段階に応じて、より質の高いピア・サポートを目指していきたい。

今後は今まで培ってきたピア・サポートの理念や行動と言葉のつながりを意識して、より深い共通理解を目指したい。

4 来年度に向けて

本年度、西小スローガン「毎日守ろう 亀城ッ子宣言」を定め、それに向けて各行事を行ったことにより、児童も職員も「やさしさ」や「ルール」といった視点からピア・サポートについて考え、意識を高めることができた。

来年度は、学年の発達や個の状態に応じてピア・サポートという言葉と行動を結びつけて価値付け、自己肯定感を高め、友達とのよりよい関係を築けるように促していきたい。

